

2025年3月期 第3四半期（4-12月）
決算説明資料

酒井重工業株式会社

証券コード 6358

URL <https://www.sakainet.co.jp>

2025年2月13日

決算短信（サマリー情報）

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

（百万円未満切捨て）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益		1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	20,243	△16.7	1,368	△47.0	1,413	△47.2	1,435	△26.3	168.56	—
2024年3月期第3四半期	24,301	9.8	2,580	62.7	2,676	68.7	1,947	66.1	229.39	—

（注）包括利益 2025年3月期第3四半期1,674百万円（△57.6%） 2024年3月期第3四半期3,948百万円（43.7%）

（注）当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2025年3月期第3四半期	43,766		29,732		67.8
2024年3月期	44,237		29,165		65.8

（参考）自己資本 2025年3月期第3四半期 29,661百万円 2024年3月期 29,093百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	90.00	—	195.00	285.00
2025年3月期	—	85.00	—		
2025年3月期（予想）				60.50	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2025年3月期（予想）の1株当たり期末配当金には株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。

株式分割を考慮しない場合の2025年3月期（予想）の1株当たり期末配当金は、121円00銭で1株当たり年間配当金は206円00銭となります。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,200	△17.6	1,740	△47.6	1,700	△48.9	1,700	△30.3	199.67

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

2025年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益には株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。

株式分割の影響を考慮しない場合の2025年3月期の通期の連結業績予想における1株当たりの当期純利益は399円34銭となります。

連結業績ハイライト

1. 第3四半期業績の概要

- 1) **連結売上高： 20,243百万円（前年同期比 16.7%減）**
 コロナ後の経済拡大期が峠を越えて調整期に入り、世界の建設機械市場は減速基調のまま推移
- 2) **営業利益： 1,368百万円（前年同期比 47.0%減）**
 需要調整局面の中の売上減少に伴い減益
- 3) **四半期純利益： 1,435百万円（前年同期比 26.3%減）**
 投資有価証券売却益2億8千万円により嵩上げ
- 4) **国内販売： 9,490百万円（前年同期比 14.3%減）**
 国土強靱化加速化対策を背景とした堅調な政府建設投資が続きましたものの、度重なる価格改定前の駆け込み需要と物流と建設の残業上限規制に対して、だぶついた建設機械の在庫調整が継続
- 5) **北米販売： 4,965百万円（前年同期比 25.1%減）**
 インフラ投資法を背景とした道路建設投資が続きましたものの、金利の高止まりが続く中でディーラ段階の在庫調整が更に加速
- 6) **アジア販売： 4,715百万円（前年同期比 14.3%減）**
 選挙イヤーでA S E A N市場全般の需要が停滞

連結業績ハイライト

2. 事業環境変化への対応

1) 資本収益性向上に向けた取組み

(1) 中期経営方針の進捗

5か年中期計画	: 売上高 300億円、営業利益 31億円、ROE 8.0%
前通期実績 (第3年度)	: 売上高 330億円、営業利益 33.1億円、ROE 9.0%
当第3四半期実績	: 売上高 202億円、営業利益 13.6億円、ROE 6.5%
当通期業績予想 (第4年度)	: 売上高 272億円、営業利益 17.4億円、ROE 5.8%

(2) 企業価値向上の進捗 (PBR1倍超え)

2023年4月13日付適時開示「資本収益性の向上に向けた取組状況について」にて取組み方針を開示

<https://www.sakainet.co.jp/news/item/20230413shihonsyuuuekisei.pdf>

2024年 3月末: PBR 0.98倍 (株価 3,340円) ←株式分割を考慮

2024年12月末: PBR 0.68倍 (株価 2,370円) ←株式分割を考慮

2) 価格改定と高付加価値化と効率化による収益構造改革

原価率改善: 70.8% (前年同期比 0.1%改善)

3) 人的資本投資の強化

(1) 賃金改善と雇用安定化: 賃上げ (23年度5.1%、24年度6.0%)

(2) 現場技能者増強と職場環境整備: 工場・サービス現場増強と健全な職場環境づくり。

4) 需要変化対応

棚卸資産回転数: 2.2回転 (前年同期比 0.58回転減 (21%減))

世界経済が減速する中で建設機械市場も調整期を迎え、適正在庫水準へ調整強化中

連結業績ハイライト

3. 中長期成長戦略

- 1) **アジア市場深耕** : インドネシア拠点を中核としたASEAN市場拡大（鉱山・舗装市場への営業展開）
- 2) **海外事業領域拡大** : 道路維持機械の海外市場展開（ODA案件増加、現地生産開始、インドネシアにおける道路再生工法の基準化完了）
- 3) **北米市場開拓** : ニッチマーケティングによるシェア拡大（差別化商品による技術営業強化）
- 4) **次世代事業開発** : 緊急ブレーキ、転圧管理システム、切削管理システムの市場展開。
自律走行式ローラ、EVローラの事業化開始。

4. 事業環境見通し

1) 世界の建設機械市場

短期的にはコロナ後の需要拡大期からの調整局面がしばらく続くものの、中期的には、日米の大型インフラ投資計画や新興諸国におけるインフラ投資と鉱山開発の活発化、更には老朽化インフラの更新需要や災害対策など、建設機械の底堅い潜在需要が期待されますので、景気循環を経て底入れするものと予想しております。

2) リスクと対応

世界の政治的パワーバランスの変化に伴い、今後の世界貿易や安全保障情勢に新たな変化の兆しがありますので、世界経済の先行きは予断を許しません。

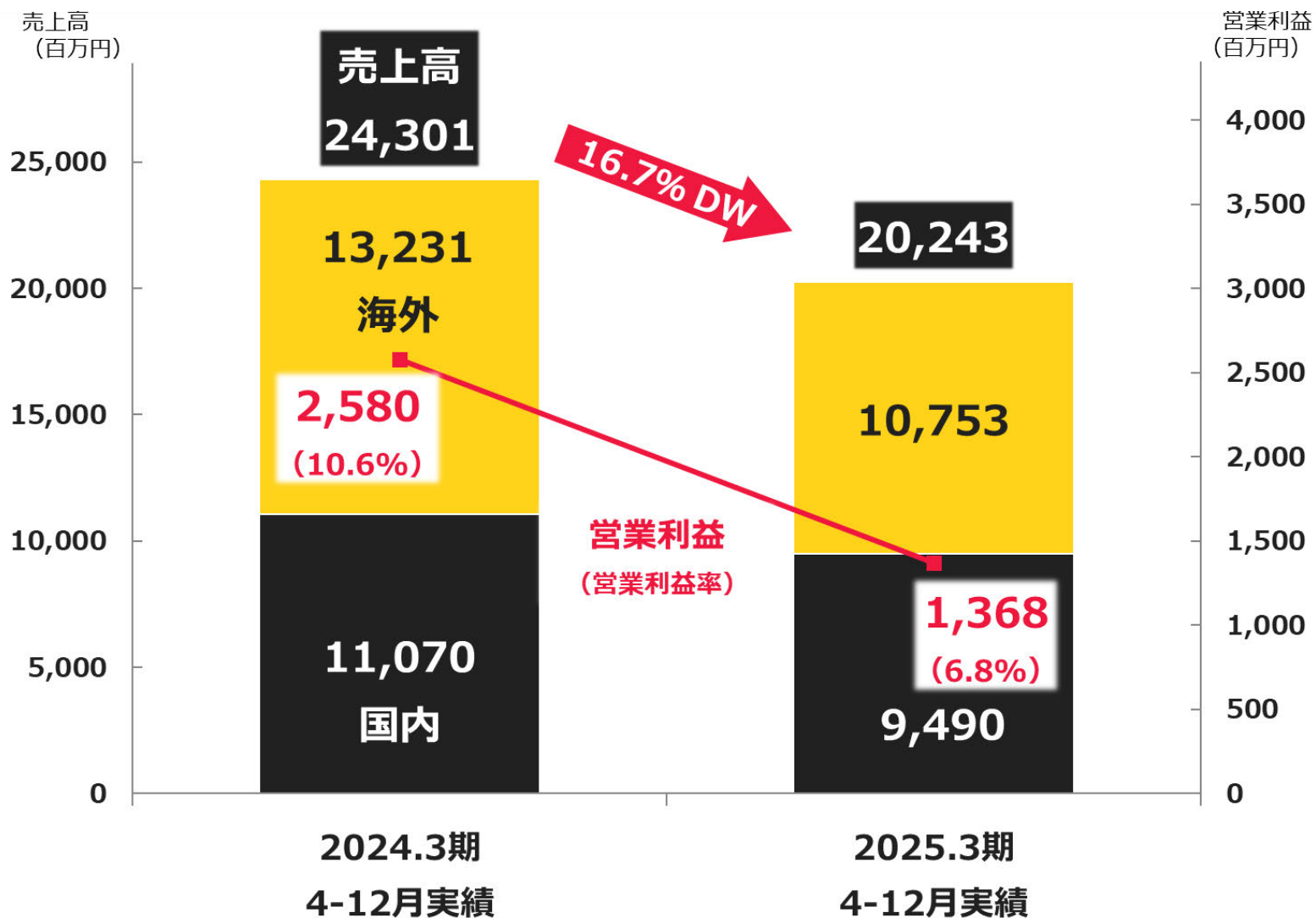
この様な情勢の下で当企業グループでは、収益構造と人的組織能力の強化に加え、市場環境変化に伴う競争力強化対策やものづくり品質の安定化施策など、この需要調整期に経営の基礎基盤を固め直し、市場回復期に向けた企業体質強化を進めて参ります。

連結業績

(単位：百万円)

	2024.3期 4-12月実績	2025.3期 4-12月実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	24,301	20,243	▲ 4,058	▲ 16.7%
国内	11,070	9,490	▲ 1,579	▲ 14.3%
海外	13,231	10,753	▲ 2,478	▲ 18.7%
営業利益 (営業利益率)	2,580 (10.6%)	1,368 (6.8%)	▲ 1,212	▲ 47.0%
経常利益	2,676	1,413	▲ 1,263	▲ 47.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,947	1,435	▲ 511	▲ 26.3%
(原価率)	(70.9%)	(70.8%)		

連結業績 (グラフ)



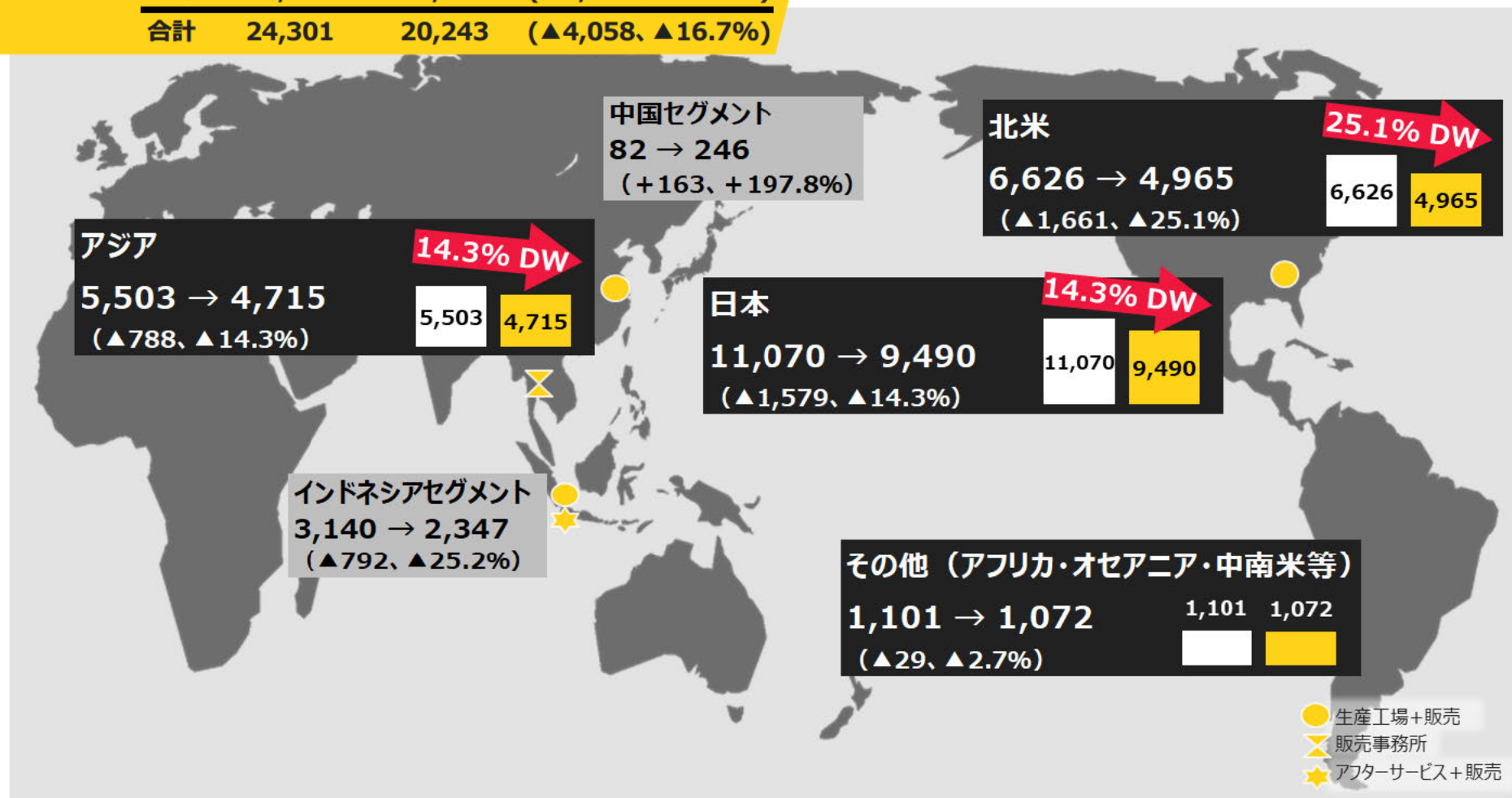
地域区分別売上高 (顧客の所在地別に分類)

(単位：百万円)

	2024.3期 4-12月実績	2025.3期 4-12月実績	前年同期比	
			増減額	増減率
国内	11,070	9,490	▲ 1,579	▲ 14.3%
海外	13,231	10,753	▲ 2,478	▲ 18.7%
北米	6,626	4,965	▲ 1,661	▲ 25.1%
アジア	5,503	4,715	▲ 788	▲ 14.3%
その他	1,101	1,072	▲ 29	▲ 2.7%
合計	24,301	20,243	▲ 4,058	▲ 16.7%

地域区分別売上高（地図）

(単位：百万円)	24.3期 4-12月	25.3期 4-12月	前年同期比
国内	11,070	9,490	(▲1,579、▲14.3%)
海外	13,231	10,753	(▲2,478、▲18.7%)
合計	24,301	20,243	(▲4,058、▲16.7%)



所在地別セグメント (当社の生産・販売拠点別に分類)

(単位：百万円)

日本	2024.3期 4-12月実績	2025.3期 4-12月実績	前年同期比	
			増減額	増減率
外部顧客売上高	14,451	12,683	▲ 1,767	▲ 12.2%
内部売上高	3,324	2,665	▲ 658	▲ 19.8%
総売上高	17,775	15,348	▲ 2,426	▲ 13.7%
営業利益	843	294	▲ 549	▲ 65.1%

(単位：百万円)

北米	2024.3期 4-12月実績	2025.3期 4-12月実績	前年同期比	
			増減額	増減率
外部顧客売上高	6,626	4,965	▲ 1,661	▲ 25.1%
内部売上高	6	9	3	51.2%
総売上高	6,633	4,975	▲ 1,657	▲ 25.0%
営業利益	762	644	▲ 117	▲ 15.4%

(単位：百万円)

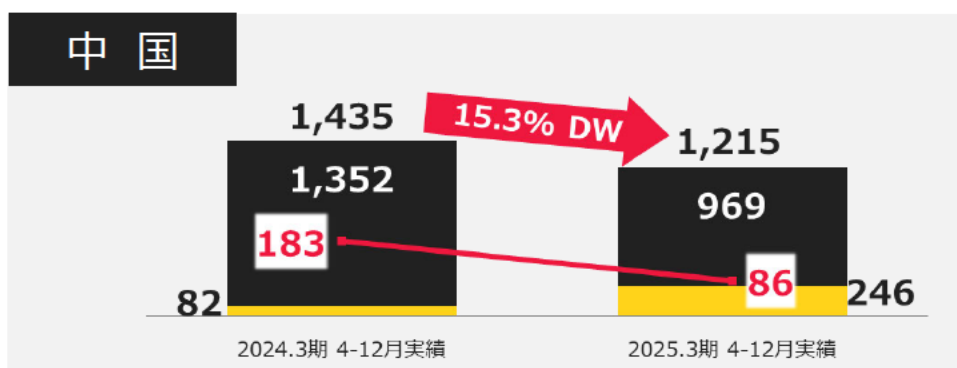
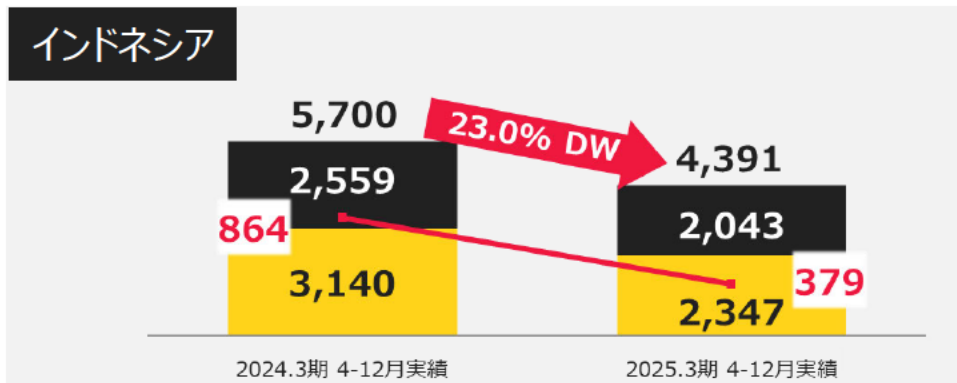
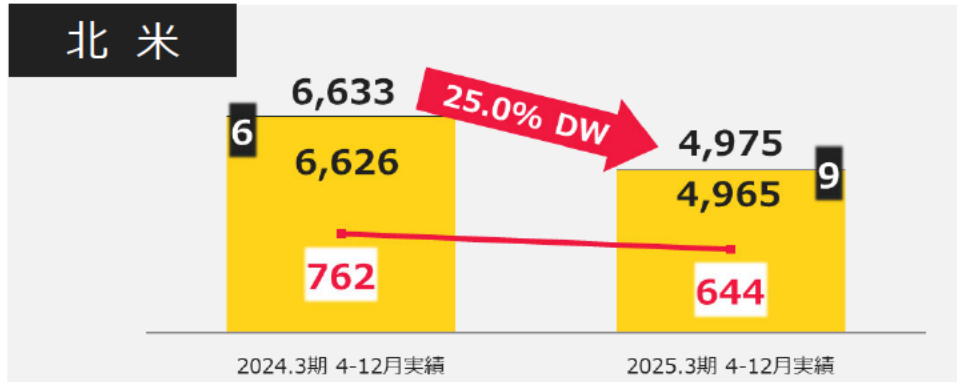
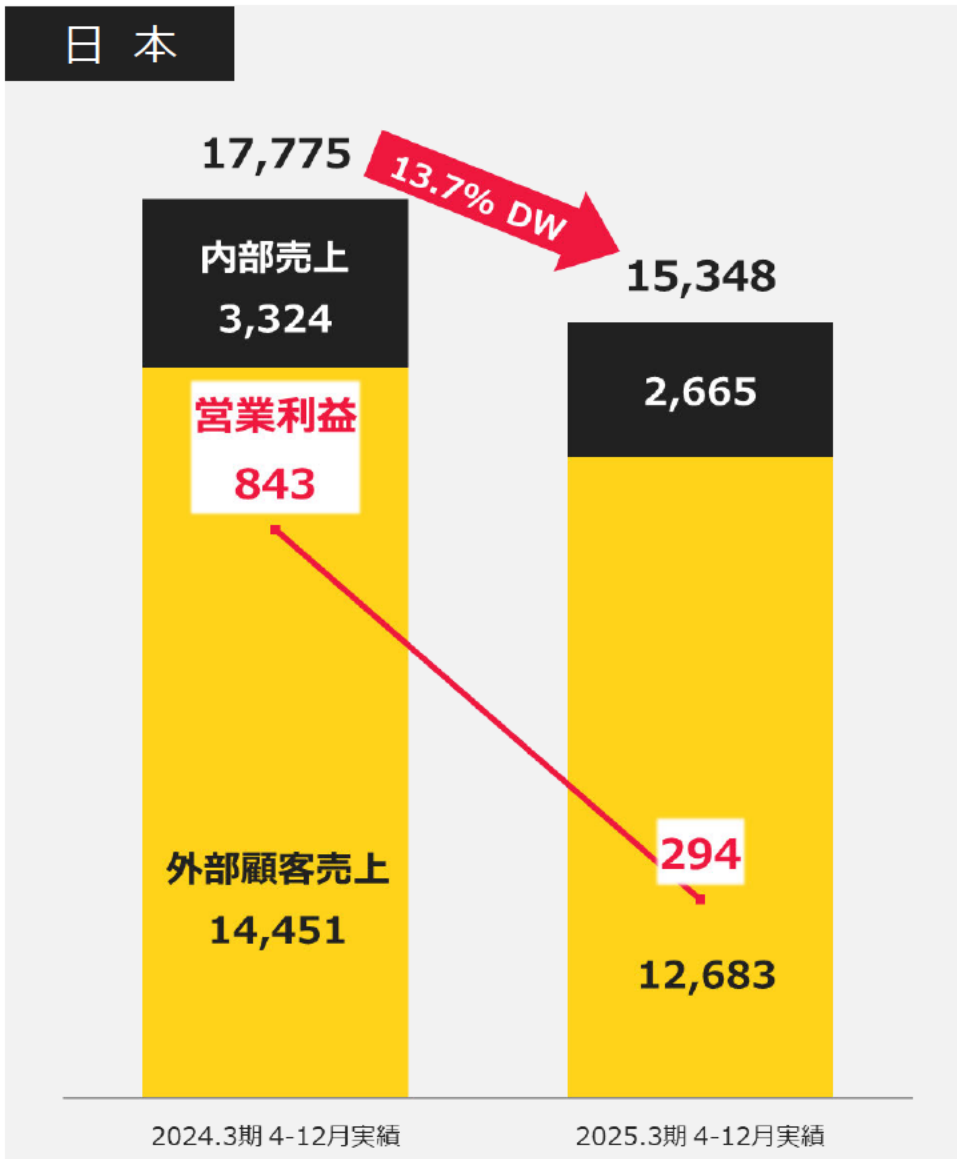
インドネシア	2024.3期 4-12月実績	2025.3期 4-12月実績	前年同期比	
			増減額	増減率
外部顧客売上高	3,140	2,347	▲ 792	▲ 25.2%
内部売上高	2,559	2,043	▲ 516	▲ 20.2%
総売上高	5,700	4,391	▲ 1,308	▲ 23.0%
営業利益	864	379	▲ 485	▲ 56.1%

(単位：百万円)

中国	2024.3期 4-12月実績	2025.3期 4-12月実績	前年同期比	
			増減額	増減率
外部顧客売上高	82	246	163	197.8%
内部売上高	1,352	969	▲ 383	▲ 28.4%
総売上高	1,435	1,215	▲ 220	▲ 15.3%
営業利益	183	86	▲ 97	▲ 52.9%

所在地別セグメント (グラフ)

(単位：百万円)



営業利益 増減要因

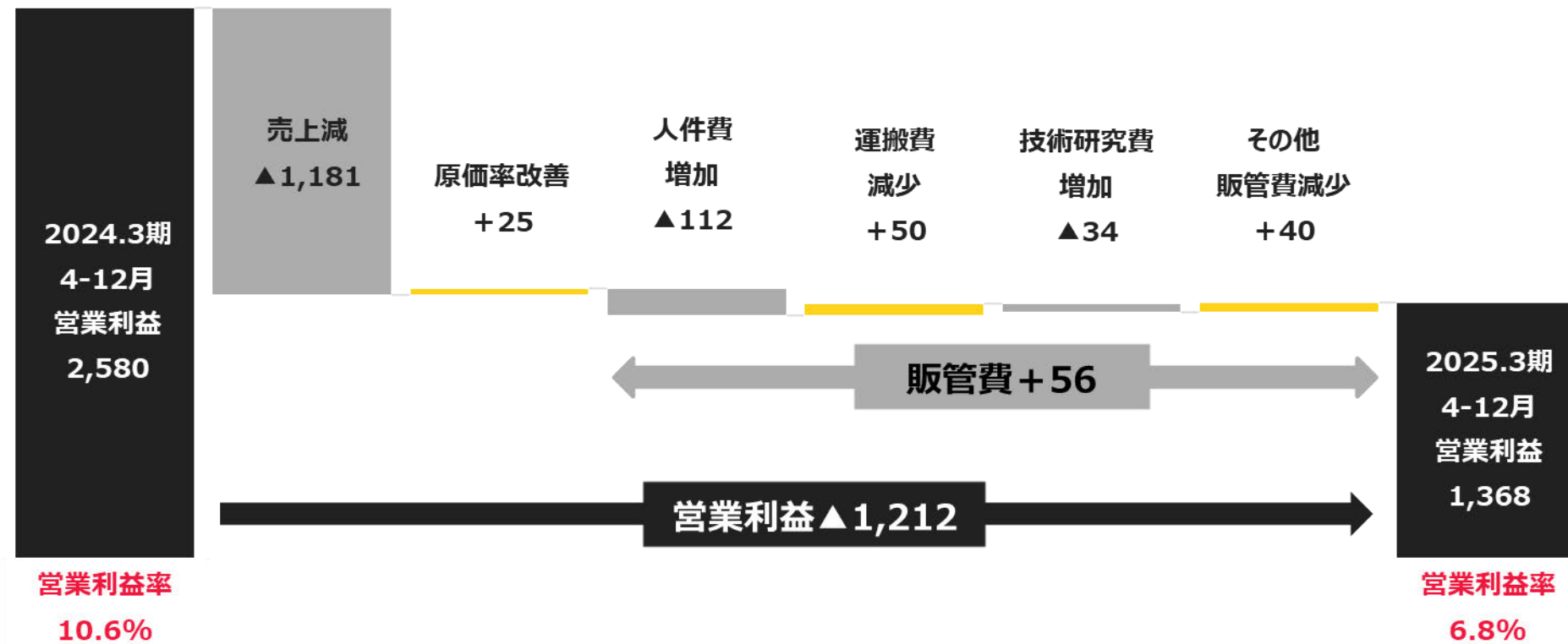
- 売上高が前年同期比4,058百万円減少した結果、売上総利益は1,181百万円の減益
- 原価率は0.1%改善し、売上総利益は25百万円の増益
- 人的資本投資強化（人件費増）に伴い、販管費は56百万円の増加
- 結果として営業利益は、前年同期比1,212百万円減の1,368百万円

(単位：百万円)

	2024.3期 4-12月実績	2025.3期 4-12月実績	増減	営業利益への 影響額	備 考
売上高	24,301	20,243	▲ 4,058	▲ 1,181	▲4,058 x (1 - 70.9%)
(原価率)	70.9%	70.8%	▲0.1%	+25	20,243 x ▲0.1%
売上総利益	7,076	5,920	▲ 1,156		
販管費	4,496	4,552	56	▲ 56	人件費+112、運搬費▲50、 技術研究費+34、その他販管費▲40
営業利益	2,580	1,368		▲ 1,212	

営業利益 増減要因 (グラフ)

(単位：百万円)

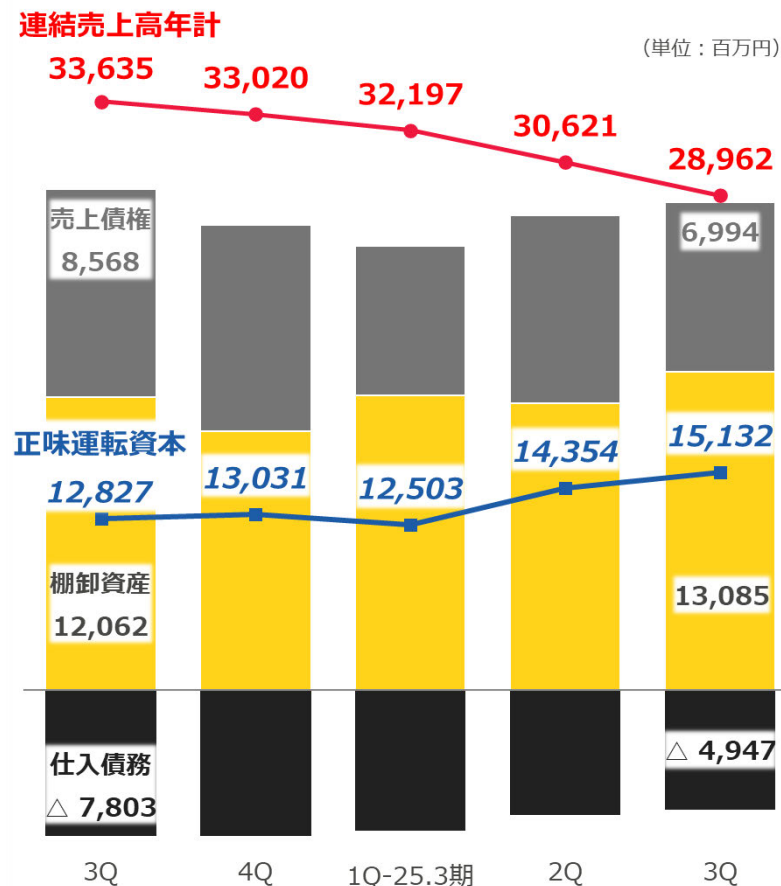


正味運転資本推移 (売上債権 + 棚卸資産 - 仕入債務)

- 営業上の投下運転資金は、前年同期比で売上債権1,574百万円減、棚卸資産1,023百万円増、仕入債務2,856百万円減少の結果、2,305百万円増/18.0%増の15,132百万円。
- 棚卸資産は、前年同期比0.58回減 (21%減) の2.2回に低下。在庫適正化に向けて在庫調整強化中。
- 仕入債務の大幅減少要因は、生産調整と下請法の60日ルール適用。

(単位：百万円)

	2024.3期	2025.3期	前年同期比	
	4-12月実績	4-12月実績	増減額	増減率
連結売上高 (年計)	33,635	28,962	▲4,673	▲13.9%
売上債権	8,568	6,994	▲1,574	▲18.4%
棚卸資産	12,062	13,085	1,023	8.5%
仕入債務	▲7,803	▲4,947	2,856	▲36.6%
正味運転資本	12,827	15,132	2,305	18.0%
棚卸資産回転数	2.79回	2.21回	▲0.58回	
正味運転資本/売上高比率	38.1%	52.2%	14.1%	



連結業績の予想

- 通期売上高予想：上半期決算を踏まえ、2024年11月13日に下方修正済みです。
- 今後、世界の建設機械市場は、短期的にはコロナ後の需要拡大期からの調整局面がしばらく続くものの、中期的には日米の大型インフラ投資計画や新興諸国におけるインフラ投資と鉱山開発の活性化、更には老朽化インフラの更新需要や災害対策など、建設機械の底堅い潜在需要が期待されますので、景気循環を経て底入れするものと予想しております。

(業績予想値の前提となる 下期の為替レートは、米ドル140円で換算)

(単位：百万円)

	3Q (4-12月)				通期			
	2024.3期 4-12月実績	2025.3期 4-12月実績	前年同期比		2024.3期 通期実績	2025.3期 通期予想	前年比	
			増減額	増減率			増減額	増減率
売上高	24,301	20,243	▲ 4,058	▲16.7%	33,020	27,200	▲ 5,820	▲17.6%
営業利益	2,580	1,368	▲ 1,212	▲47.0%	3,318	1,740	▲ 1,578	▲47.6%
経常利益	2,676	1,413	▲ 1,263	▲47.2%	3,324	1,700	▲ 1,624	▲48.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,947	1,435	▲ 511	▲26.3%	2,440	1,700	▲ 740	▲30.3%
1株当たり純利益	229.39円	168.56円	▲60.83円	▲26.5%	287.37円	199.67円	▲87.70円	▲30.5%

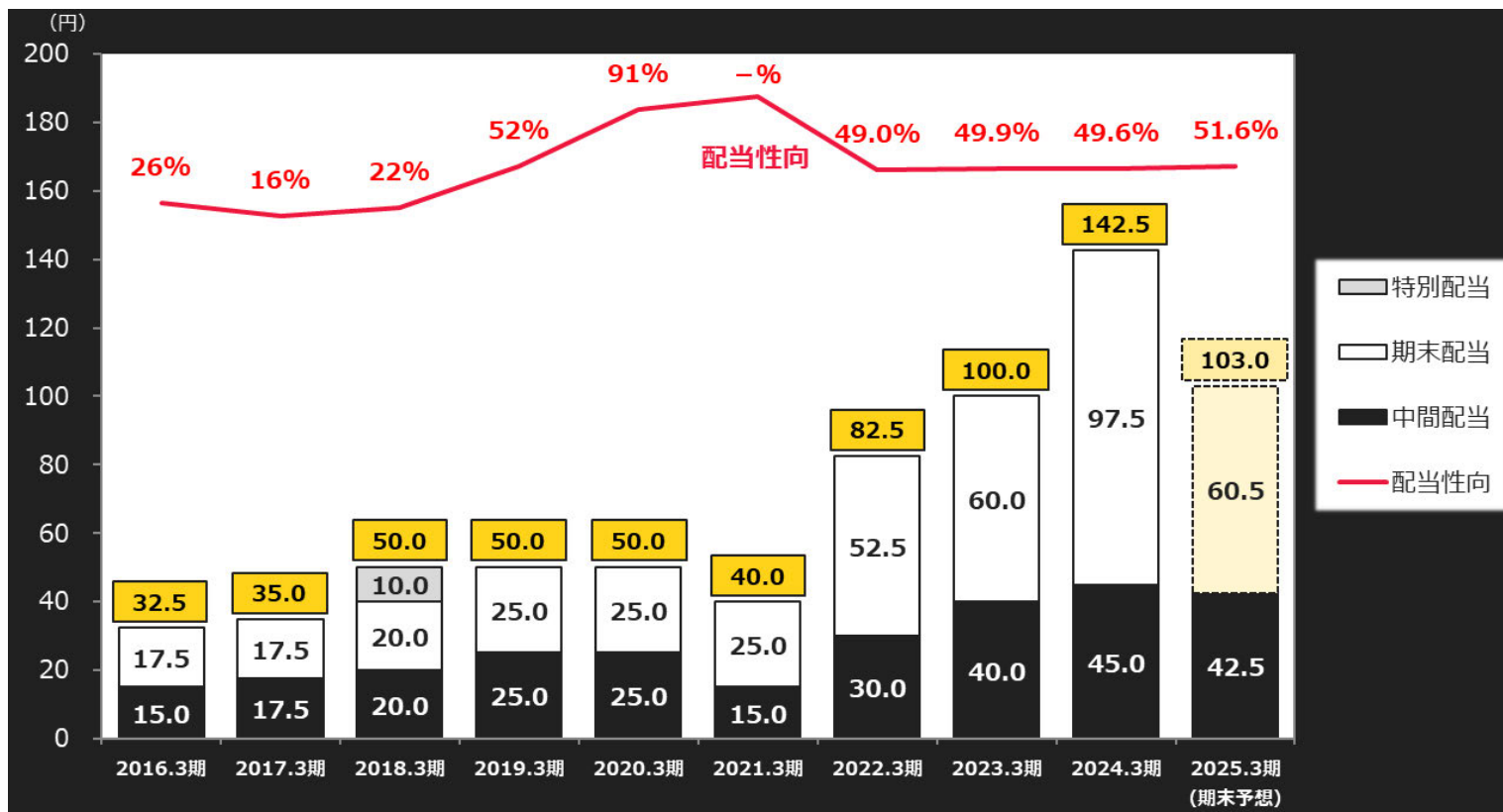
注) 2024年10月1日をもって1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純利益」を算定しております。

配当金の状況

- 2021年6月2日の『中期的な当社経営方針』発表以降、ROE 8%を目標として、次の配当方針を掲げております。

ROE 3%を下回る場合：配当性向100%の還元
 ROE 3%～6%の場合：DOE 3%の還元
 ROE 6%を超えた場合：配当性向50%の還元

- 2024年11月13日の修正通期業績予想値のROEが5.8%に低下する見通しの為、左記配当方針に従い、通期配当予想値をDOE3%とし、1株当たり配当金を107円50銭から103円に下方修正済み。



注) 2017年10月1日をもって10株を1株に株式併合を実施、併合前についても併合後に合わせて表示しております。
 2024年10月1日をもって1株につき2株の割合で株式分割を実施、分割前についても分割後に合わせて表示しております。

中期経営方針 KPI

- 前年度は実力以外の上振れ要因により中期計画 K P I を達成できたものの、世界の建設機械市場が調整局面を迎える中、本年度は R O E が 5.8% まで低下する見通しです。
- 来年度以降に向けて、この変化局面においても P B R 1 倍以上を達成する為、R O E 8% 以上を継続的に達成できる収益構造を目指して参ります。

(単位：百万円)

	2024.3期 4-12月実績	2025.3期 4-12月実績	2024.3期 通期実績	2025.3期 通期予想	2026.3期 目標
売上高	24,301	20,243	33,020	27,200	30,000
営業利益	2,580	1,368	3,318	1,740	3,100
年換算ROE (自己資本当期純利益率) ※1	9.7%	6.5%	9.0%	5.8%	8.0%
自己株式取得	—	—	—	取得累積	
				340 ^{※2}	500 ~ 2,000 ^{※3}

※1 年換算ROEは、対象決算期間に基づき年換算しております。

※2 2025年2月13日現在で実行済みの累積金額です。

※3 2026.3期までの累積目標額です。

SAKAI

MASTERS OF COMPACTION

お問い合わせ

酒井重工業株式会社

I R室 吉川 孝郎

メール sakai.ir@sakainet.co.jp

TEL 03-3434-3401

FAX 03-3436-6513

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。